

**■ 教育目的**

カナダ・アルバータ大学薬学部、イギリス・ハートフォードシャー大学薬学部、タイ・チュラーロンコーン大学薬学部、タイ・マヒドン大学薬学部など他国の薬学教育や薬剤師の役割（薬局業務、病院業務）などについて、研修で習得したことをもとに、日本との違いを比較検討する。

**■ 学習到達目標**

研修を通して学んだことをキャリアとして今後を生かすため、将来の薬剤師として、他国の患者さんが病院や薬局等の医療提供施設に訪れたことを想定し、日本の医療と他国のそれとの違いを説明できるようになる。

**■ 準備学習（予習・復習）**

予習：演習テーマについて、海外医療研修で身に着けた知識の整理、研修報告書の内容の確認、演習関連資料を収集するなどして予備知識を自己学習する。

復習：演習内容の理解不足については早急に復習して知識を補うこと。また、SGDでは自分の考えや調査したことを簡潔にまとめて説明できたかどうか、意見の違う人を批判せずに自分の考えを述べられたかどうかを学生同士で確認すること。

**■ 授業内容**

- カナダ、イギリス、タイなどの薬学教育、薬剤師の役割（薬局業務、病院業務）などについてテーマ別に日本のそれらと比較検討する。
- 提携大学の留学生らに、日本の薬学教育、医療における薬剤師の業務などについて説明する。
- 提携大学の教員による講義・ワークショップ等に参加し、海外における薬学最新情報の習得に努める。
- 国際保健分野で活躍する医療関係者の体験談を聞き、薬剤師のキャリア選択の一つとして考える。

**■ 授業分担者**

赤沢 学（責任者）、石橋 賢一、庄野 あい子、樋口 和宏、越前 宏俊（アドバイザー）、学外講師

**■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法**

事前演習、ワークショップやセミナーなどの出席を加味して、総合的に判断し評価する。

**■ 教科書**

必要に応じてプリントを配布する。

**■ 参考書**

特に指定なし。